

第5回 草津市まち・ひと・しごと創生推進懇話会

論点整理資料

(1) 令和元年度総合戦略の指標および重要業績評価指標の実績値について

資料 1

【概要】

平成28年3月に策定した「草津市まち・ひと・しごと創生総合戦略」では、3つの戦略目標と7つの戦略プロジェクト(参考資料3、P9)を定めており、それぞれに目標となる指標や KPI(重要業績評価指標)を設定し、この指標等の達成に向けた事業(令和元年度:約102.8億円、101事業)を実施しています。

総合戦略の取組の中には徐々に成果が現れているものもあり、今後においても目標達成に向けた取組を進めていきます。

【令和元年度実績値の結果】

◆ 戦略目標	
1. 目標値(R2)を達成している指標	(3)
2. 前年度(H30)から上昇した指標	(3)
3. 前年度(H30)から下降した指標	(1)、(2-1)、(2-2)
4. 現状値(H26)から上昇した指標	(2-2)、(3)
5. 現状値(H26)から下降した指標	(1)、(2-1)

※(2)の指標のうち、「まちに誇れるもの(ブランド)があると思う市民の割合」を(2-1)、「JR草津駅・南草津駅乗車人員(年度間1日平均)」を(2-2)としている。

◆ 戦略プロジェクト	
1. 目標値(R2)を達成している指標	①、⑤
2. 前年度(H30)から上昇した指標	①、②、④、⑤
3. 前年度(H30)から下降した指標	③、⑥
4. 現状値(H26)から上昇した指標	①、④、⑤
5. 現状値(H26)から下降した指標	②、③、⑥

※⑤「観光入込客数」は、暫定値(令和2年12月頃に実績値確定予定)

⑦「健康寿命(平均自立期間)」は令和2年度末頃に実績値確定予定

(2) 令和元年度地方創生関連交付金事業の効果検証について

資料 2-1、2-2

【概要】

令和元年度に交付を受けた地方創生推進交付金と地方創生拠点整備交付金の対象事業について、事務局として「事業効果(※1)」と「今後の方針(※2)」としてまとめましたので、これらを踏まえて、草津市まち・ひと・しごと創生推進懇話会において、「事業の評価(※3)」をお願いするものです。

「事業の効果」や「今後の方針」の基準は、下段(※1、※2、※3)のとおり国から示されています。

【地方創生推進交付金】

事業名	「健幸都市くさつ」実現プロジェクト
事業効果	<u>地方創生に効果があった</u>
理由	KPIの達成状況は芳しくなかったものの、各事業の実施を通じて、健康づくりの推進を図ることができ、また、健幸都市宣言賛同企業・団体数の増加を図ることができたため
今後の方針	<u>事業の終了</u>
理由	令和元年度末で、住む人も、訪れる人も、健幸になれるまち「健幸都市くさつ」実現プロジェクトの計画期間が終了したため

事業名	ビワイチ推進プロジェクト
事業効果	<u>地方創生に効果があった</u>
理由	KPIの達成状況は芳しくなかったものの、イベントの開催や、ビワイチの情報発信を行い、サイクリスト誘客に寄与することができたため
今後の方針	<u>事業の継続</u>
理由	令和2年度は、全ての KPI について、実績値が目標値を上回るよう、関係市町と連携して取組を進めるため

【地方創生拠点整備交付金】

事業名	常盤学区における地方創生拠点整備プロジェクト
事業効果	<u>地方創生に効果があった</u>
理由	KPI の2項目で目標を達成でき、常盤まちづくりセンターを活用したコミュニティビジネスの実施、事業内容の検討のため、視察研修を実施することで、機運の醸成を図ることができたため
今後の方針	<u>事業の継続</u>
理由	常盤まちづくりセンターを拠点とした農業振興や地域活性に関する事業等を、地域の協力のもと実施するとともに、先行事例地への研修・講演会の開催等を進め、コミュニティビジネスの推進に活かすため

(3) 令和2年度地方創生関連交付金事業について

資料3-1、3-2

令和2年度において、以下の地方創生関連交付金事業を実施します。

なお、令和2年度に実施する事業の評価は、令和3年度において、(2)と同様に草津市まち・ひと・しごと創生推進懇話会において「事業の評価」をいただく予定をしています。

地方創生推進交付金

- (1) 要因分析を活用した健康寿命延伸プロジェクト
- (2) ビワイチ推進プロジェクト

地方創生拠点整備交付金

- (1) 常盤学区における地方創生拠点整備プロジェクト